

追加資料 2

第 1 回白井市地域福祉計画策定等委員会（令和 3 年 6 月 2 9 日開催）

委員からの意見一覧

議題 2 白井市第 2 次地域福祉計画の一部見直しについて

意見

- 「自殺対策」に関する一つの意見として、ゲートキーパーの役割が重要だと考えます。ゲートキーパーは、保健、医療、福祉、教育、経済、労働などの様々な分野において、問題を抱えて悩み、自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援や相談へとつなぎ、見守る役割を担います。そのゲートキーパーを養成する講座を一般市民向けに開催し、身近な地域で支え手となる市民の育成を進めることで地域における見守り体制を強化する必要があると考えます。

議題 3 包括的な支援体制づくりについて

意見

- 包括的な支援体制づくりでは、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり」をセットで行うことを想定する必要があると思います。
「断らない相談支援」では属性や年齢を問わずに相談を受け止め、関係機関との協働を進めること、「参加支援」は就労、学習など多様な形の社会参加を促すこと、「地域づくり」は交流や参加の機会を増やすこと、などをどのように具体化していくかを考えておくことが必要かと考えます。
その際、ソーシャルワーカーの活用が重要と思います。専門性のある職員が活躍できる仕組みを作ることが必要になります。
- 「断らない相談支援」は、いいと思います。
- 本人を中心として「伴走」する意識はとてもいいと思います。
- 資料に書かれていることの体制づくりが必要。
- 取組例を参考に、しっかりと組み立てて取り組んでいきたい。
- 民生委員・児童委員の活動に際し、高齢者についての事例報告は話題に上がるのですが、子どもに関する事柄、障害、困窮、虐待などの実態報告が上がってこない。
市内に地域包括支援センターが 3 か所設置されています。併用する形で子育て支援に関する窓口と人材を置いて、気軽に相談支援にあたる（仮称）子ども子育て支援センター